

●気象庁緊急地震速報関連解説

○ 緊急地震速報とは？

地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、強い揺れがくることを知らせる速報です。ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

○ 緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

<さまざまな場面における具体的な対応行動の指針の例>

【家庭では】

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れてください。
- あわてて外へ飛び出さないでください。



【人がおおぜいいる施設では】

- 施設の係員の指示に従ってください。
- 落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。



【屋外（街）では】

- ブロック塀の倒壊等に注意し、そばから離れてください。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、持ち物で頭を守る等してください。
- 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。

